

三春出前講座

(国立環境研究所の出前講座)

(独)国立環境研究所では、震災後、放射能に汚染された環境の回復をはじめとして、福島復興・再生のためにさまざまな調査研究を行ってきました。

より一層地元で根ざした調査研究活動を行うため、福島県が三春町(田村西部工業団地内)に建設をすすめている「福島県環境創造センター」内に、国立環境研究所福島支部が平成28年度に開設される予定です。

このたび、国立環境研究所がこれまで行ってきた研究の成果の一部を紹介するとともに、住民の方々との意見交換を行うことを目的として、出前講座を開催します。

また、三春町が運営する食品等放射能検査所「三春の里ベクレルセンター」より、町内で採取した自家消費野菜などの放射性物質の傾向について紹介します。

●日時 平成26年11月9日(日)
13:30~15:30(受付 13:00~)

●会場 三春交流館「まほら」 小ホール 福島県田村郡三春町字大町 191

●内容

▽ 国立環境研究所ですすめる災害環境研究

国立環境研究所福島支部準備室 研究総括 大原 利真 氏

▽ 身近な自然環境における放射性物質の動き

国立環境研究所 環境回復研究プログラム プロジェクトリーダー 林 誠二 氏

自然環境の放射能汚染の状況を正しく理解することは、安全で安心な生活を送るうえで、とても大切です。

森から海まで河川を介した流域における放射性物質の事故後のこれまでの動きと現在の状態、そして、今後の推移について、福島県内を主とした調査結果を紹介します。

▽ 三春町内における自家消費野菜等の放射性物質濃度の推移及び傾向

三春の里ベクレルセンター 安齊 和夫 氏

三春町が運営する食品等放射能検査所がこれまで実施してきた検査結果や食品ごとの放射性物質濃度の傾向について紹介します。

▽ 環境と調和した復興まちづくりの研究

国立環境研究所 環境創生研究プログラム 主任研究員 大場 真 氏

復旧から環境創造へ。エネルギーの観点から、将来のまちづくりや暮らしについて、研究事例を紹介します。

▽ 質疑・ディスカッション

●参加費 無料

どなたでも参加できます。事前の申込みは不要です。

※当日は、他の文化祭行事等のため、「まほら」駐車場の混雑が予想されます。お車でお越しの際は、役場周辺の公共施設駐車場に駐車してください。

主催 独立行政法人国立環境研究所、三春町
問合せ先 三春町役場 住民課生活環境グループ ☎0247-62-2147